



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田 勝之

vol.106

2015.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

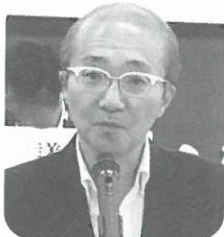
第61回定期総会開催!

事業団体との連携、反貧困、復興支援等の取組を確認!

第61回定期総会は、5月27日にワークプラザ岐阜において開催しました。議長は佐藤常任幹事を選出しました。高田会長は挨拶で、東日本被災地の復興支援の継続と子供の貧困率を例に生活困窮者救済の活動を中央労福協や連合と連携して取組む決意を述べられました。続いて来賓が紹介され、岐阜県の兼山労働雇用課長、岐阜市の上松商工観光部長、連合岐阜舟口会長、そして東海労働金庫の三尾専務理事から其々ご祝辞を頂きました。議案審議は、清水事務局長から2014年度の活動報告と決算報告、2015年度の活動方針案と予算案、規約の改定が提案され、全会一致で承認されました。今年は役員改選の年で、12年間事務局長を務められた清水氏が退任し、新しく井端事務局長が就任しました。向こう2年間よろしくお願いします。



高田会長



岐阜県兼山課長



岐阜市上松部長



連合舟口会長



東海労金三尾専務



清水事務局長

創立60周年記念事業 海外(台湾)視察研修

日程5月21日~23日 視察団31名

岐阜労福協創立60周年記念事業として、5月21日から23日の2泊3日で海外視察研修を行いました。団長は高田会長、副団長は連合岐阜舟口会長、会員や事業団体から総勢31名の関係者が参加されました。バスで市内を走ると漢字の看板が多く、川崎重工の電車が走り、親しみのもてる国だと感じました。二日目に岐阜車体労組佐藤委員長の紹介でトヨタ車体関連の春翔欣業を訪問しました。会議室に入り会社概要「1997年にトヨタ車体と地元の春翔鉄鋼の共同出資で設立した。技術指導はトヨタ車体が行った。工場の敷地面積は1万5千坪で、現地社員260名がプレス部品と金型を製造している」と説明を受けた。その後、団員はヘルメットとゴーグルを付けて、事務所内で製品説明を聞き、安全教育訓練施設を体験して工場内に入りました。ロボットも多く導入されていましたが、従業員の手作業も多く、特に印象に残ったのは「無動力による＝からくり改善」が多くの職場で導入されていた事です。工場を出て再び会議室に戻り、従業員福祉の状況などについて質疑応答を行い、約2時間の工場視察を終了しました。ご多忙中、視察を受け入れ丁寧にご対応戴いた関係各位に、深く感謝申し上げ、視察報告と致します。



岐阜支部定期総会

第53回定期総会は、6月18日に「ワークプラザ岐阜」において、県労福協の高田会長を招いて開催された。2014年度の活動総括と2015年度の方針・活動計画・予算の諸議案を審議し満場一致で承認された。活動の基本は①会員拡大と体制の充実、②各事業団体の基盤強化、③勤労者の生涯福祉の実現、④地域福祉の向上と実現、⑤働く人達やその家族に愛される活動の展開、⑥社会貢献活動及び教育活動の推進などを掲げ、これらに対する具体的な活動内容が承認された。



飛騨支部定期総会

支部定期総会は6月25日「ろうかん」で開催した。議長に熊崎副支部長を選任し小井戸支部長の挨拶の後、来賓の県労福協の井端事務局長より挨拶を頂いた。2014年度活動報告と会計報告等の後、2015年度活動方針、会計予算、満場一致で承認された。役員改選により今年度の役員が決まった。活動方針では「なんでも相談会」を高山市、下呂市、飛騨市、白川村の支援と協力を頂き「飛騨地域サポートセンター」事業との連携で相談業務の充実を図り問題解決に取り組むことや、スポーツ大会等を通じ飛騨地域の勤労者に理解いただく中で、相互の協力と協同による運動を促進することが確認された。



西濃支部定期総会

6月30日18:30よりサンワークにおいて第54回総会を開催した。主催者代表として冒頭堀支部長が、勤労者の福祉向上のためには、労働福祉事業団体と労働組合の連携を強化し貧困、格差、多重債務のない社会に向けた活動をしていく必要がある。そのためには会員みなさんの協力が必要である。そのためには会員みなさんの協力が必要である。その後来賓で県労福協の高田会長から、東日本大震災の復興支援状況等を含めた激励のあいさつをもらった。議事についてはすべての議案を全会一致で可決し、福祉事業団体との強い連携で困難な時期を乗り越えることを確認した。



土岐支部定期総会

労福協土岐支部の2015年度第61回定期総会は、7月1日(水)土岐市の「土岐市文化プラザ」において開催致しました。冒頭、佐々木支部長が挨拶したのち、ご来賓の内藤副会長様より県労福協の勤労者福祉活動についてご挨拶を頂戴し、その後2014年度の活動の総括と2015年度の活動方針や役員変更等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。最後に今後も労働福祉事業団体との連携を密に図り、「新たな10年に向けて具体的な活動方針」に沿って、消費者対策などの社会的運動も精力的に展開していくことを全員で確認しました。



中濃支部定期総会

7月2日にKYB労組研修センターにおいて定期総会を開催した。日江井支部長の挨拶の後、来賓の県労福協の佐藤副会長に挨拶を頂いた。議事では平成26年度総括、27年度活動方針、27年度役員の承認等の緒議案を審議し、満場一致で承認された。

活動方針では「連帯」と「協同」に基本的価値を置き、労働運動、労働者自主福祉運動の連携による共同事業の利用促進を展開しつつ、事業団体の基盤強化と勤労者の生涯福祉の充実に向け活動して行くことを確認した。



中恵支部定期総会

労福協中恵支部の2015年度定期総会は7月8日に東海労金中津川支店・会議室に於いて開催した。来賓として岐阜県労福協高田会長、中津川市大山副市長、全労済東濃支所平井支所長、顧問議員団からご挨拶頂いた。総会では2014年度の総括と2015年度の方針・活動計画・予算・役員改選・規約改正を審議し満場一致で承認され、労働組合や事業団体(労金・全労済)が労働者の暮らしを守る中心的組織として「人と暮らし、環境にやさしい福祉社会の実現」に向けて活動することを確認した。

県労福協中恵支部 定期総会

開催日：2015年7月8日(水) 場所：東海労金中津川支店



東海労金通常総会

東海労働金庫の第15回通常総会は、6月24日に名古屋市ウインク愛知において開催された。自治体と労働団体と各事業団体の来賓と東海三県から多くの代議員が出席された。

議案審議は第15期剰余金処分案と平成27年度事業計画及び収支計画、定款の一部変更等が提案され全議案が承認された。

役員改選により飯田理事長・小野副理事長が退任された。最後に新役員を代表して理事長に就任される渡会常務理事が挨拶された。

東海労働金庫第15回通常総会



岐阜労済総代会、全労済岐阜県本部代表者会議

7月31日ワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第57回通常総代会および全労済岐阜県本部第6回代表者会議が県下各地より多くの総代・組合員代表者が出席して開催された。豊田理事長・県本部長の挨拶に続き2014年度事業報告・決算報告と2015年度事業計画・予算案が提案され承認された。

また役員改選により三役の互選をおこない豊田理事長(本部長)、櫻井副理事長(副本部長)、鈴木専務理事(専務執行役員)が就任した。

岐阜県労働者共済生活協同組合 第57回 通常総代



全国盲人福祉大会

岐阜大会にボランティア参加！

5月29日から31日の3日間、岐阜市国際会議場において全国盲人福祉大会が開催され、全国から約1300名の関係者が参加した。岐阜労福協は連合岐阜の呼び掛けに応じて、岐阜支部・事業団体・労金労組・労済労連の仲間とともに最終日にボランティア参加しました。本大会は毎年場所を変えて開催されており、岐阜県での開催は時に54年ぶりだということです。当日は早朝6時30分にワークプラザに集合し説明を受けて本会場に入りました。殆どの人が視覚障害者のサポート経験がなく、最初は戸惑いましたが無事にやり遂げることが出来ました。最後に参加者をお見送りした際に、「ありがとう」の言葉を頂き感激しました。来年は青森県での開催です。



中央労福協 全国研究集会

愛知県春日井市で開催！

今年の研究集会は6月4日5日に春日井市で開催され、全国から264名が参加しました。岐阜労福協からは高田会長と東海労金三尾専務・全労済豊田本部長・井端事務局長など7名が参加しました。高田会長は中部労福協を代表して歓迎の挨拶をされました。今年のメインテーマは「持続可能な社会と若者の未来」。1日目は立命館大学高橋教授の日本経済の講演と、さいたまNPOセンターの青砥代表の若者の貧困に関する講演でした。2日目は中京大学大内教授の奨学金問題の講演と、それを受けたパネルディスカッションが行われた。最後に中央労福協の「奨学金問題に対する取組み」が報告されて、集会は終了しました。



国際協同組合デー

『危機にこそ強い協同組合』



国際協同組合デーは、全世界の協同組合員が心を一つにして協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために運動の前進を誓いあう日で、毎年7月の第1土曜日と定めています。岐阜県では、7月3日に岐阜市のホテルパークにおいて、「協同組合を考える集」が開催されました。参加団体は、JA岐阜関係団体・県酪農組合・県森林組合・岐阜生協連と岐阜労福協・東海労金・福祉センター・全労済で、参加者は120名でした。集会は、最初に岐阜大学の荒井教授から「岐阜県協同組合間提携活動の歩み」について報告があり、続いて滋賀大学の小池教授が「地域社会における協同組合の果たすべき役割」をテーマに講演されました。最後に参加団体の職員5名が「協同組合の役割」について発表されました。一年に一度の集会でしたが、参加した協同組合間の交流もあり、相互理解を深める貴重な機会でした。